

書名	超エモ訳うたひめたちの100の詠			著者名	富井健二／著		
出版社	三笠書房	ISBN	978-4-8379-8963-9	本体価格	¥810	発売	2026/4/1
内容	今も昔も変わらない。儂くも熱い、女たちの想い。少し疲れた日も、前を向きたい朝も。そっとページをひらけば、あなたの気持ちにいちばん近い一首が、きっと見つかる！飛鳥・奈良時代から近現代まで！新解釈で読む女たちの和歌。						

書名	じゃんじゃん火			著者名	三輪敏之／著		
出版社	文芸社	ISBN	978-4-286-27179-8	本体価格	¥1,400	発売	2026/4/1
内容	同じ職場の先輩・加奈子と後輩・舞子。真一をめぐる複雑な三角関係は、やがてその奥に秘められた、痛ましくも深い真実を噴き出させる。そして、加奈子の過去が追いついたとき、運命は急転する。命を奪われ、怨念の炎となった加奈子は、奈良の怪火伝承「じゃんじゃん火」として真一の前に現れる。時代を越えて伝わる怨念の連鎖と、それすらをも乗り越えようとする、一人の男の愛と浄化の物語。						

書名	風土記の歴史 人びとがつむぐ地域のすがた			著者名	兼岡理恵／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-30635-5	本体価格	¥1,800	発売	2026/4/20
内容	奈良時代に日本各地で作成され、出雲・常陸・播磨・豊後・肥前の五カ国が伝わる風土(ふど)記(き)。地名や物産・伝承など、収録内容から編纂背景や特徴を探る。『万葉集』などの解釈や寺社縁起に利用された中世から、江戸時代における再発見と研究の発展と出版、明治以降の民俗学などへの活用を経て現代まで、約一三〇〇年にわたる歴史を辿りその魅力に迫る。						

書名	般若心経・金剛般若経			著者名	中村元、紀野一義／著		
出版社	岩波書店	ISBN	978-4-00-761036-3	本体価格	¥2,700	発売	2026/4/20
内容	日本における仏教のほとんどは大乗仏教であり、「般若心経」はその根本思想である空の理法を説いたもの。また「金剛般若経」は古来より広く読誦されてきた大般若経典のなかの代表的な教典である。本書は玄奘の漢訳とその読み下し文およびサンスクリット原典からの現代語訳を対象させて収め、一般読者の便をはかった。						

書名	王朝文化の胎動 撰関期～鳥羽院政期			著者名	榎輪顕量 菊地大樹 増記隆介 高橋悠介／著		
出版社	春秋社	ISBN	978-4-393-29968-5	本体価格	¥3,200	発売	2026/4/20
内容	シリーズ中世日本宗教史始動！ 撰関期から戦国時代までの中世の宗教史を仏教学、歴史学、美術史学などの観点から描き出す。第一巻では撰関期～初期院政期を対象とし、その時代の東大寺や、仏像、密教、浄土教、陰陽道などについて取り上げる。						

書名	風土記の歴史 人びとがつむぐ地域のすがた			著者名	兼岡理恵／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-30635-5	本体価格	¥1,800	発売	2026/4/20
内容	奈良時代に日本各地で作成され、出雲・常陸・播磨・豊後・肥前の五ヵ国が伝わる風土(ふど)記(き)。地名や物産・伝承など、収録内容から編纂背景や特徴を探る。『万葉集』などの解釈や寺社縁起に利用された中世から、江戸時代における再発見と研究の発展と出版、明治以降の民俗学などへの活用を経て現代まで、約一三〇〇年にわたる歴史を辿りその魅力に迫る。						

書名	金波銀波			著者名	澤田瞳子／著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-006023-6	本体価格	¥2,150	発売	2026/4/23
内容	時は貞観九年(867)。海神の生贄となる定め少女・由良はある日、海賊に襲われた商人船から巨大な櫃が海に投げ出されるのを目撃する。船長の赤名が拾い上げると、縛られた謎の男が入っており……。新羅と内々に交易を行い財を成す商人、京での争いに敗れ大宰府に赴任する不遇の官人、銭と欲の坩堝の海で逞しく生きる海賊、そして……。複雑なしがらみによって生じた危険な渦に、いつしか由良は巻き込まれていく。金銀財宝が集まってきた博多の海、そして西国の島々を舞台に直木賞作家が描く、壮大でスリリングな歴史長篇！						

書名	カラー版 古代史の謎を解く！ 日本の古墳100選			著者名	若狭 徹／著		
出版社	宝島社	ISBN	978-4-299-07681-6	本体価格	¥1,264	発売	2026/4/28
内容	「日本の古寺100選」「日本の神社100選」「日本の聖地100選」につながるカラー版新書の最新版。全国に16万基以上ある古墳から、読者の興味を引く古墳をセレクト。古代天皇と地方豪族の巨大古墳、ヤマト王権成立前後に建造された古墳、東京の古墳、国宝級の遺物が発見された古墳など、古代史ファンが行きたくなる100の古墳を解説。						